

一般社団法人 病院薬剤部(科)長・薬局長 殿  
セミナー参加の先生 各位

一般社団法人 滋賀県病院薬剤師会  
会 長 寺田 智祐  
学術部部長 岩崎 秀子

## 平成29年度 学術委員会 秋のセミナーのご案内

拝啓

平素は学術委員会の活動に対してご理解とご協力賜り厚く御礼申し上げます。

先にご案内申し上げました学術委員会主催の秋のセミナーに多数のお申し込みをいただきありがとうございます。例年になく参加申し込み数となり、学術委員会としてうれしい悲鳴をあげると共に、有意義なセミナーとなるように準備を進めています。

下記の要項で開催いたしますので、参加登録していただいた先生方におきましては、セミナーのプログラムと自分が参加する分科会の確認をよろしくお願いいたします。

敬具

記

( テーマ )

### スペシャリストへの第一歩！

～ 勇気をもって専門分野の扉をたたいてみよう ～

日 時 平成29年 11月 19日 ( 日 ) ( 受付12:20～ )

セミナー 12:50～17:00 懇親会 17:30～

場 所 セミナー会場 草津まちづくりセンター

( 滋賀県草津市西大路町9-6 JR草津駅西口徒歩3分 地図参照 )

懇親会会場 **トラットリア デラ メーラー** ( セミナー会場すぐ近く、地図参照 )

参加費 セミナーのみ 1,000円 セミナー・懇親会通し 2,000円

\*お釣りのないようお願いします

問い合わせ先 大津赤十字病院 薬剤部 077-522-4131 (代)

上田 豊実 E-Mail : [ueda.otsu.jrc@gmail.com](mailto:ueda.otsu.jrc@gmail.com)

( 当日の連絡先 : 上田 090-5362-9597 [ueda.otsu.jrc@gmail.com](mailto:ueda.otsu.jrc@gmail.com) )

その他

- ※ セミナー・懇親会の参加につきましては、事前に参加申し込みをされた方のみとなります。
- ※ 懇親会にやむなく参加できなくなった場合は、必ず(当日も含む)、上記の問い合わせ先まで速やかにご連絡いただきますようお願いいたします。(当日は受付時までとします)
- ※ 添付の分科会参加者名簿にて、参加する分科会を確認して下さい。
- ※ 特別に県病薬のために駐車場は確保していません。公共交通機関をご利用ください。
- ※ 本研修は、日病薬病院薬学認定薬剤師研修制度の研修カリキュラムをの申請をしていますが、最初の案内と異なる単位となっているものがあります。ご確認ください。
- ※ 分科会におきましては、専門分野の認定薬剤師の講習会としても単位を申請しています。

## プログラム

12:50～13:00 開会式

13:00～14:30 全体会 301・302・306 号室

『 病棟活動に活かす薬剤師の視点 ～ 輸液関連でチェックするのはここだ！ ～ 』

座長 公立甲賀病院 薬剤部 松本 名美 先生

株式会社 大塚製薬工場 学術委員会 [単位：Ⅲ-1 (1単位)]

14:30～14:50 休憩

14:50～16:50 分科会

**分科会1** がん領域 『 これでわかる、抗がん薬の処方意図 ～肺がん～ 』

306 号室

座長 滋賀医科大学医学部付属病院 薬剤部 野田 哲史 先生

◆**基調講演** ( 14:50～15:35 ) [単位：Ⅱ-1 (0.5単位)]

「肺癌治療における処方解析 ～肺がん診療ガイドライン2016をもとに～」

がん薬物療法委員会 滋賀医科大学医学部付属病院

薬剤部 須藤 正朝 先生

◆**症例検討** ( 15:35～16:50 ) [単位：Ⅲ-1 (0.5単位)]

「肺癌 PEM+CDDP 療法に対する処方監査と服薬指導の実際」

がん薬物療法委員会 県立成人病センター 薬剤部 大辻 貴司 先生

公立甲賀病院 薬剤部 原口 久義 先生

\* 日本病院薬剤師会 がん専門・認定薬剤師の講習会 1単位  
終了後、成果報告書を提出していただきます

**分科会2** 感染領域 『 薬剤師が知っておきたい感染症治療の基礎知識 』

309 号室

座長 県立成人病センター 薬剤部 胡井 俊祐 先生

獨協医科大学越谷病院 薬剤部 佐野 邦明 先生

感染制御委員会 [単位：Ⅴ-1 (1単位)]

\* 日本病院薬剤師会 感染制御領域の講習会 1単位 (申請中)  
終了後、確認試験を行い、提出をしていただきます

**分科会3** 精神領域 『 向精神薬の使い方教えられますか？ 』

301

座長 一般社団法人 水口病院 薬剤部 大久保 雅則 先生

302 号室

岡山県精神科医療センター 馬場 大樹 先生

精神薬物療法委員会 [単位：Ⅱ-6 (1単位)]

\* 精神科専門薬剤師・薬物療法認定薬剤師の講習会 1単位 (申請中)  
終了後、成果報告書を提出していただきます

16:50～17:00 閉会式 ( 終了後、懇親会会場へ移動 )

17:30～19:30 懇親会 ～ 楽しく交流を図りましょう！！ ～

**全体会 病棟活動に活かす薬剤師の視点～輸液関連でチェックするのはここだ！～**

病棟が上がっていると、多くの患者さんに点滴療法が行われており、重症度が上がる度に薬剤が増えて、ハイリスク薬もばんばん側管から入って、ルートが増えて・・・、さあ薬学的管理というけど、どこのなにをチェックしたらいいのだろう？看護師さんから、「Aの薬品とBの薬品は一緒に行ってもいいですか？あつ、Cの薬品も増えました！」の質問に（先輩にいつも頼っているけど）自信を持って答えてみたい・・・そんなあなたの不安を払拭します。

医療安全も考えた薬剤師の視点からの点滴・注射ルートのチェック事項やルート・点滴時間などの提案・配合変化を回避したルート提案をみんなで考えたいと思います。

**分科会1 がん領域『これでわかる、抗がん薬の処方意図～肺がん～』**

抗がん薬治療は複雑で多様化しており、添付文書の情報だけでは、目の前にある処方が正しいものか判断できず困ったことはありませんか？本分科会の講演では、がん専門薬剤師が肺がんの治療の進め方、治療法とその特徴、選択の基準をガイドラインに準じて懇切丁寧にわかりやすく解説します。また、グループ討論では、一つの症例について深く考えていきます。様々な意見や他施設の状況を学ぶことで、明日からの業務にきっと役立てられます。

**分科会2 感染領域『薬剤師が知っておきたい感染症治療の基礎知識』**

病棟にいると医師だけでなく、看護師からも細菌や抗菌薬について質問されることがありませんか？「専門の薬剤師から連絡いたします」ではなく、その場で自分が医師や看護師とディスカッションできればいいなと思ったことはありませんか？病棟で出会う感染症はそれほど多くありません。本分科会ではTDMを含めた感染症治療に必要な基礎知識を学びます。学んだ知識が役立つような症例も用意しています。是非、感染症に苦手意識のある先生もご参加ください。

**分科会3 精神領域『向精神薬の使い方教えられますか？』**

2年後の学生実習から、精神神経疾患の教育が必修となります。精神科分科会では、岡山県精神科医療センターの馬場大樹先生をお招きして、精神科領域の学生実習の進め方をご講演頂きます。岡山県では、一般病院でも参考になる精神科領域実務実習補助テキストの作成や病院間のグループ実習を以前から実施されています。普段精神科領域と関わりのない先生方、実習担当の先生も是非ご参加ください！

**セミナー会場・懇親会会場**

